

長崎留学生支援センター

事業名	長崎市民と長崎地域の大学等の新入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイク			
実施期間	平成25年6月8日・平成25年11月9日			
場所	長崎大学・長崎市内被爆遺構、長崎原爆資料館、長崎歴史文化博物館			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他(日本人学生)	合計
	560名	10名	32名	602名

<実施内容>

(午前)
各大学→長崎大学(被爆体験講話、意見交換)
(新入留学生、日本人学生、長崎市民)
昼食
(午後)
・A班 長崎歴史文化博物館→平和公園・原爆落下中心地→長崎原爆資料館→各大学
・B班 平和公園・原爆落下中心地→長崎原爆資料館→長崎歴史文化博物館→各大学
(新入留学生、日本人学生)
平成25年6月8日、11月9日の2回実施



平和公園で平和案内人の説明を聴く学生

長崎平和大学(長崎市民と長崎地域の大学等の新入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイク)が平成25年6月8日(土)、11月9日(土)に開催されました。本事業は公益財団法人中島記念国際交流財団助成を受けて、平成21年度から年2回実施しています。今年から、長崎留学生支援センターと長崎県、長崎市が共同主催し、合計22の国と地域の留学生560名と日本人学生32名の参加を得ました。

午前中は、長崎大学中部講堂で被爆体験講話として6月に奥村アヤ子さん、11月は谷口稜暉さんをお迎えし、ご自身やご家族の被爆当時のお話しに耳を傾けました。講話後留学生から平和や被爆当時の心情などについて真剣に質問しました。午後は平和案内人(ボランティアガイド)の説明を受けながら平和公園、落下中心地等の被爆遺構や長崎原爆資料館、長崎歴史文化博物館を見学しました。

参加した学生たちは平和への思いを新たにするとともに、勉学の地である長崎への理解を深めました。参加した留学生からは原爆の真相をした、被爆講話を聴いて、ショックした、世界の平和を祈る、長崎のこといろいろわかった、など多くのコメントを得ました。

<参加者からのコメント>

一般参加者/ALT

谷口さんの話は興味深いで感動的でしたが、平和に集中し後世のためにどのように平和を確保すべきかなど、発表した方が有益だろうと思いました。今日の講話は重苦しかったので、励みになるようなメッセージで釣り合えばよかったですと思います。

袁 爽(中国)/YUAN SHUANG(CHINA)

充実した一日でした。原爆当時の映像を見たり、被害者傷跡の写真を見たり、原爆の恐怖をすごく感じました。そして原爆体験者谷口先生の生きる気力と勇気に敬服しました。

博物館や資料館で長崎の歴史と文化をよく理解できました。

平和公園のガイドの方が易しい日本語で説明して、分かり易かったですが、平和公園にいる時間がもっと欲しかったです。もっと交流したかったです。

原爆投与されてから立ち直り、平和のために努力し続ける谷口先生のような長崎人が凄く尊敬します。平和大学がきっかけで、歴史をもう一度習いました。歴史問題を解決するのが難しいですが、核兵器や戦争という手段を使わず、平和的な手段を通じて解決できるように期待しています。